

ふたかみ NEWS

プチトマト

アトリエ班
日帰り旅行



～楽しかった！～

1月12日(金)神戸市にある「a to a」へ行ってきました。幻想的な水槽で優雅に泳ぐ魚や画面越しの動物と会話ができる事にみんなびっくり。神戸牛のハンバーグはとても柔らかくペロリ。「お腹いっぱい」と言った矢先にデザート注文。別腹ですものね♪お土産もたくさん買い、楽しい思い出がまた一つ増えたね！(山田)

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者: 石本悦二 編集責任者: 関口奈緒美



今年も各事業所で節分の取り組みをしました！

鬼に目掛けて節分豆に見立てたマシュマロをみんな力いっぱい投げていました。「鬼は外！福は内！」と元気な声が響き渡っていました！！(辰己)



きょうされん 第47次
国会請願署名・募金運動
全国キャンペーン



障害者権利条約を地域のすみずみに
障害のある人びとを支える
制度づくりのための
署名・募金にご協力ください

cafeハピバー

2月の予定

定休日 毎週水曜/日曜

休み

★Instagram★
[cafe-hapibar.com](https://www.instagram.com/cafe-hapibar.com)



お問い合わせ先
072-958-3232

■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

2024年1月

辻敏之 辻まち子 辻敏哉 辻摩美 石田陽喜 松平美江子

.....以上1口

■ボランティア.....垣内秀夫様 垣内享太様

■アルミ缶回収(1月分).....kg

ありがとうございます。

◆2023年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援、くらしの場へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費: 1口3,000円 団体会費: 1口10,000円】 郵便振替口座: 00940-5-325894

震災について考える

2024年1月1日に起きた能登半島地震を受け、世代の異なる4名の職員が震災についての考えや思いを書きました。

13年前の3月11日は大阪を離れており、地震を知ったときは、次女に車の中で授乳をしていました。

津波の映像がテレビで流れ、テレビのCMも流せない、自粛モード、そんな状況の生活が続き、震災で亡くなられた方、その家族の皆様への悲しみを考えると、本当に辛い状況でした。

夫が震災の支援に行きたいと話があり、育休明けで仕事を復帰したばかりで不安ながら、送り出しをしました。

夫が支援に行ったことで、産まれたばかりの我が子と妻の安否がわからぬままなかまの支援にあたっていらっしゃるなど、テレビの情報だけでは知ることができないこともたくさん教えてもらいました。

BCP作成が義務化され、私自身も現在作成中ですが、自分たちだけの力では不十分であることは明らかです。有事の際の行政としての義務も明らかにすべきではないかと、能登での地震があったことでさらに痛感しています。（関口な）

「私たちに何ができるのか」

阪神淡路大震災が起きた年は小学生でした。テレビで流れている映像を見ながら、画面下にカウントされていく死者の数字がどんどん増えていくのを子どもながらに見ていたことを思い出します。

東日本大震災では大きな津波に襲われている映像が何度も流れ、現実のものとは思えませんでした。

能登半島地震でも大きな被害が出ています。震災から2カ月。

毎年のようにどこかで大きな災害が起きています。「当たり前の日常」がたった1日で当たり前じゃなくなることを、想像できないですが想定しておかなければならないと思います。

情報や状況の理解がうまくできない人達と関わることが多い福祉職員として、障害がある人が実際にどのようなことで困っているか、災害が起きた時に何が必要になるのかなど、情報の収集と発信もしながら実践に取り組んでいきたいと思っています。（伊藤）

「一人ひとりができることを」

多くの人の人生が変わってしまった3月11日。当時テレビの画面越しに見た凄まじい映像は今なお忘れられません。言葉にできない思いが募ります。

そして今年も、新年早々大きな災害に見舞われました。現地では自衛隊をはじめあらゆる職種の方々が奔走していることと思います。

被災地では現実問題として、障害者やその家族が避難先で障害の理解を得られず苦しい思いをされている事実があります。ふたかみ福祉会では、日頃から地域の皆さんとの交流を行っています。活動を通してなかまのことを知っていただくことが緊急時の支え合いにも繋がるのだと思うと、大切な活動であると感じました。改めて、いつも見守ってくださっている地域の皆さんに感謝いたします。

自然災害はいつ起こるかわかりません。募金、備蓄、情報収集など、小さなことでも自分にできることを続けていこうと思います。（経澤）

「震災をうけて」

東日本大震災が起きたとき、私は小学校6年生でした。卒業式の練習の最中で全員がひな壇の上で同じ角度で揺れているのを発見し、異変に気づきました。その後は悲惨な報道を目にし、卒業式を行うことのできなかった子どもたち思いを馳せ、当り前は当り前ではないのだと感じたことを覚えています。

そして現在、能登半島地震が発生し、再び悲惨なニュースが続いています。私は「福祉避難所開設、計画通りに進まず」という記事を目にし、これまでの震災と同様の課題が生じていることを知り、胸を痛めました。障害があることで大人数が集まる避難所が難しく、車中泊や損壊した家に留まる選択をせざるを得ない状況に追いやられている人もいます。そのような方々が、家族責任や自己責任で片付けられず、必要な支援を受けられる体制を整えられるよう社会全体で、後回しにせず取り組む必要があると強く思いました。（大前）

第27回能登半島地震被害者総合研修会に参加して

1月26日（金）27日（土）の2日間、ニチイ神戸ポートアイランドセンターにおいてきょうされんの研修がありました。

対面とオンラインのハイブリッドの実施となり、270名以上の参加者でした。

テーマは『障害者権利条約批准10年 憲法に基づく平和と人権を真ん中に直面上の経営をいかに乗り越えるか』でした。

まず元旦に発生した能登半島地震で命を落とされた方々に黙とうを捧げました。その後、きょうされんの先遣隊が14日から現地入りした報告がありました。今私たちにできることとして募金を募り、全国から集まった募金を見舞金として渡していただきました。

事業所の建物に被害が出て断水も続いている中で開所できていないところも多く、利用者の安否確認もままならない事業所もあるとのこと。福祉避難所も被災している避難できない、温泉旅館から仕事を受けていたが今後の作業は厳しいだろう、など見通しの立たない課題があるとのことでした。

きょうされん専務理事の藤井克

徳さんの「批准から10年 障害者権利条約を地域と法人のすみずみに」と題した基調報告では、条約が制定された過去の歴史から条約の未来までを語られました。研修参加者には条約を学び、伝え、生かすこと、事業所に条約を行き渡らせ、すべての事柄を条約に照らして考えることを期待すると言われました。

シンポジウムではきょうされんの歴史を作ってこられた方から未来を切り開いていこうとしている方まで3人の世代をまたぐ方々の報告がありました。障害のある人たちの未来を描くためには、仲間・家族の願いを真摯に受け止めることが大切だとのことでした。そのためには職員が法人の理念を大切にして広い視野を持つことが必要だと言われました。

分科会は「障害のある人・家族・職員を自然災害から守る」に参加しました。きょうされん先遣隊のより詳しい報告と事業継続計画（BCP）策定について、東日本大震災の被災経験された岩手県の法

人、阪神淡路大震災を経験された神戸の法人からの報告がありました。

どちらの事業所も大震災の経験をふまえてのBCP策定で、作成しながら修正していくことが必要とのことでした。例えば岩手では作成していく中で熊出沒もありうると気づいたそうです。

防災訓練の重要性も言われています。いざという時の対応は訓練で積み重ねられないとのことでした。

大前提として「命を守る」と、法人全体で多くの職員が関わって、作成しながら実行、修正をして策定していくことが大切だと伝えられました。

2日間の対面での参加で研修での学びの他にも、コロナ禍で数年間でできなかった、全国の多くの方々との交流することができました。

憲法、障害者権利条約を礎に、法人の理念を大切にしながら事業を進めること、多くの人とつながって楽しく仕事をする、それが障害のある人、取り巻く人たちの実践につながっていくと思えた研修でした。（楠尾）

藤井寺支援学校のPTAバザー

1月18日、藤井寺支援学校のPTA主催のバザーに出展させて頂きました。

昨年に引き続きハピボールから卒業生1名を含む2名のなかまに参加しました。



今年はその仲間のデザイン商品を出品！自分で描いた絵が表紙になったノートや懐かしい先生方に「これ！私のデザインやねん！」と紹介したり「久しぶり！これ買って！」と面識のない先生にまさかの押し売り（笑）販売の場でもあり、ちょっとした同窓会のような雰囲気でした。

他にもたくさんの方々が来店していたので、その商品を見て「こんな商品もいいね！」とアイデアや情報共有ができる良い時間でした。またこのような販売にお招き頂けたら嬉しいですね。（大西）



※ハピボールは「peypay」の便利なグッズです。